

2021年度

全国高校生の環境活動

新型コロナウイルスの影響でいろいろな行動が制限を受ける中、今年度も全国の高校生が熱心に環境活動、SDGs活動を続けています。

すばらしい取り組みの事例をご紹介します。

※掲載の地区別(都道府県)は、環境省地方環境事務所の所管する都道府県別で区分しています。



北海道

11 団体

北海道標津高等学校

自然科学部

綺麗な海を守ろう！標高生の3つの取り組み

綺麗な海を守るため3つ環境活動に取り組んでいます。野付巡検は、野付半島先端の砂嘴で自然観察と漂着ゴミの回収を。知床ゴミゼロ運動は生徒会が主体となり、昨年度は町内の小中学生とともに海洋ゴミの回収を、今年度は近隣3高校と連携できました。SDGs 14に向けて、海洋マイクロプラスチックに着目し調査をしています。



北海道標茶高等学校

地域環境系列 環境ゼミ外来種班

双子池におけるウチダザリガニの生態について

外来種の中には、人や日本の自然環境に良い影響を与えている外来種や在来種と共存している外来種もいるのではないかと思います。高校の敷地内には、ニホンザリガニとウチダザリガニが生息しています。今年は棲み分けを行う条件を見つけるため、敷地内の「双子池」に生息しているウチダザリガニを重点的に調査しました。



北海道美幌高等学校

環境改善班

オホーツクの自然を守れ！～未来に繋ぐ環境改善～

美幌町の河川で特定外来生物ウチダザリガニを駆除し、ニホンザリガニなど外来種保護を行っています。「命の授業」としてウチダザリガニ駆除や野菜肥料への利用などを普及しています。また、網走川流域でのマイクロプラスチック調査活動を3年前より行い、来年から美幌町や京都・沖縄など国内6カ所とアメリカとコスタリカの2カ所で実施します。



北海道羽幌高等学校

1 学年

これからもつづく地球のために

羽幌町には天売島・焼尻島の2つの島があり、島に住む海鳥を守るために活動をしています。今年度は羽幌の海岸清掃や砂浜におけるマイクロプラスチックの含有量を調査、ピオトープ公園「自然空間はぼる」での生物調査(陸生・水生生物)などを行いました。得たデータは何を語っているのか、現状を理解した上で私たちに何が出来るか一緒に考えてみませんか？



北海道標茶高等学校

地域環境系列 環境ゼミガイド班

一緒に学ぼう 私たちが発信する 自然再生意義

主な活動は「標茶高校自然満喫ツアー」です。高校敷地内の車馬山に自分たちで車馬川下流から源流までの道のりを整備し、町内広報や高校内で地域住民や町内の小中高生を対象に、自然や動植物、町の歴史についてのガイド、ドローン撮影等を実施しています。また鹿レザーストラップを釧路湿原のノロッコ号のガイド活動などで販売しました。



北海道標茶高等学校

地域環境系列 環境ゼミ森林班

森林の未来のカタチ！

地域住民へ自然環境を知ってもらい、災害による倒木を活用しSDGs達成に向けて取り組んでいます。

- ①倒木をウッドチップにし高校の敷地に撒く。
- ②倒木でストラップを作成。③フローラルウォーターの精製。標茶町役場の方と協力し、町有林でいらなくなったトドマツの枝や葉を蒸留。たくさんの人にいい香りと思ってもらえるよう研究しています。



whose×foodsプロジェクト

(学校外の有志によるプロジェクト)

whose×foodsプロジェクト

家庭での食品ロスを減らすために活動をしています。主な活動は、①生産された食物が、どのような人たちのどのような思いでどのような手段で消費者まで届くのかを追跡し動画にまとめる。②食品ロスの量を可視化して多くの人に【見て】【感じて】【考えて】もらう。③地域の人たちが集まるコミュニティを形成する。楽しさを忘れない、持続可能な取り組みを目指しています！

